

故高田誠さんの“偲ぶ集い”を開きました

一昨年3月、亡くなられた誠さんのご遺族が、思い入れの深かった、鉢伏高原で、お盆の8月13日、14日に、偲ぶ集いが7開かれました。

2年にわたる肺がん闘病の後、神戸大学医学部に献体されました。約1年後にお墓のある須磨寺にて、もどってきた御遺骨で家族葬をされました。後輩や岳友の我々は列席しておりませんが、今まで手を合わせる機会がありませんでした。このお盆に、偲ぶ会・集いをされることを奥様よりお聞きし、誠さんが残してくれた“合歓の木山荘”にて“追悼の集い”を開きました。ご承知のごとく50数年前ACKUの古い仲間と建てられた、この“合歓の木山荘”を将来とも、ACKUやHNAのメンバーが活用してくれるよう、遺言されました。また、誠さんは、氷ノ山（千本杉ヒュッテ）と鉢高原をこよなく愛されました。誠さんのご意志に則り、合歓の木同人会を発足し、残してもらったFUNDを生かし、愉快地活用を図りたいと思っております。



ねむの木山荘内集合写真 2016, 8, 13. 誠さんを偲ぶ集い

前列前、奥様（昭子さま）と左側 長男・長女ご一家；総勢9人

右側；ACKU, HNAのメンバー 田中信行様撮影

今回の集いは、奥様の要望もあり、内々のAT HOMEなもので、故誠さんのご希望にも従い、質素にやりました。合歓の木の収容能力もあり、縁の深かった、仲間だけでした。奥様、昭子様以下3家族 計9名のフルメンバーが集られました。我々7人だけではあり

ましたが、肝胆相照らす、きわめて愉快的ものとなりました。お祭り好きの誠さんの事です、あの世から、“俺を肴にワイワイ・ガヤガヤ”と、と喜んでくださったと思います。何よりも、4人のお孫様たちが、伸び伸び羽ばたいておられるようで、HAPPYでした。

参加者および記録等

(1) 2016、8、13 (土)

金井健、東郷、田中信、小谷、高田和、橋本、和光、《下線は合歓の木同人メンバー》
小屋掃除、準備の後、山の歌練習

高田昭子さん以下3家族計9人鉢伏山にて追悼山歩き後来荘、挨拶と小屋見学 民宿
“このはな” 宿泊。

(2) 2016、8、14 (日)

鉢伏登山、頂上にて、追悼歌斉唱
BQQ等の準備 (橋本、和光、小谷)
AM11時から約2時間、BBQ
ドリンク・スイカパーティー

* ずっと昔子供の頃、小屋に泊まり遊んだ事が皆様あり、山荘や周辺を看
て回って居られた

* 懇親中に山の歌を披露したが、イマイチ。然し、我慢して聞いてくださ
った。合唱隊として人様に披露するには、いまして練習が要ると痛感した。

* 元気な4人のお孫さん達は、2日越しの高原遊びもあり、良く食べてくれた。いつもの
事ながら、このBBQは好評である。

* 誠さんへの追悼がやっと出来た事を感謝します。また誠さんの残されたDNAが隆々と
羽ばたいている事がわかった。終活にも“スジ”が肝心と肝に命じた《合掌》。



鉢伏山から氷ノ山に向かい4人で“歌の斉唱”

(文責；高田和三)